



野鳥の楽園!奄美大島

日時：平成31年1月19日（土曜日）9：00～12：00

場所：秋名コミュニティセンター・田袋周辺

講師：奄美野鳥の会 鳥飼久裕さんと奄美野鳥の会の皆さん

参加者：児童・生徒50人、保護者21人、計71人



今回のタツコンホールは瀬留集落にある国指定登録有形文化財「瀬留カトリック教会」でした。



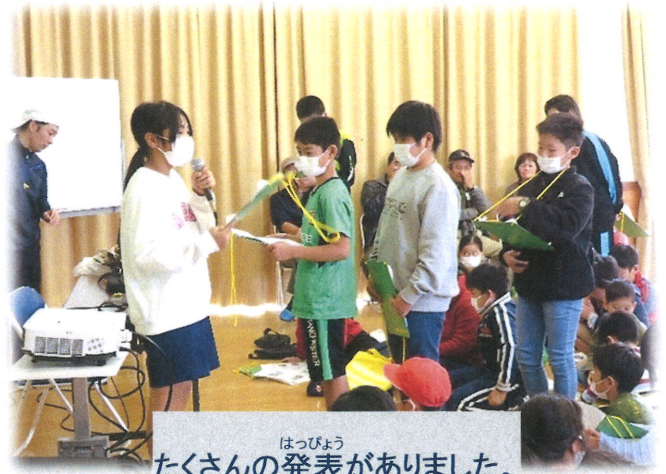
田んぼ周辺で観察会



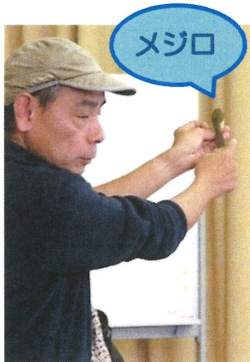
双眼鏡を使うと、鳥の姿がよく見えました。



写真や映像を使ったわかりやすいお話でした。



たくさんの発表がありました。



メジロ

第6回目の講座は、秋名コミュニティセンター周辺にやってくる野鳥の観察会と鳥についての座学を実施しました。観察会では、奄美野鳥の会の皆さん6名の方が案内してくれたおかげで、ハクセキレイ、サシバ、リュウキュウツバメ、ミサゴ、カモなど、たくさんの野鳥に出会いました。その後、秋名コミュニティセンターに戻り、鳥飼久裕先生の講話では写真や映像を使ったわかりやすいお話や、フクロウやサシバの羽を実際に触ったり、メジロを近くで観察したりしました。

戸口小3年の山口大虎さんは「奄美にしかない鳥（固有種）が多い。アカショウビンは渡り鳥だった」ということがわかったそうです。そして秋名小4年の山崎美穂さんは「ミサゴを英語でオスプレイという。」ことがわかったそうです。

いつも何気なく見ている鳥も、双眼鏡を使ってじっくり観察してみると新たな発見があり、たくさんの興味・関心が沸いたようです。そして、秋名・幾里の田んぼが鳥たちにとっていかに大事な場所であるかを知ることができ、実りある講座となりました。



ミサゴ